

令和3年度 第2回 介護保険事業運営委員会資料

見える化システムを用いた 地域分析

能勢町福祉部健康づくり課

令和4年2月

○見える化システムについて

厚生労働省が提供する地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業（支援）計画の策定・実行を総合的に支援するための情報システムです。介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が一元化され、このシステムを利用することによって、地域間比較による現状分析から自治体の課題抽出を容易に行うことができます。

○本町が行った将来推計と見える化システムにおける将来推計の差異について

本町が行う人口推計は住民基本台帳に基づいており、見える化システムにおける人口推計は平成27年（2015年）「国勢調査」をもとにした「日本の地域別将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所）に基づいており、推計値に差異が生じる場合があります。

他自治体との比較検討の必要性から、本参考資料では見える化システムにおける推計値を用いることとします。

能勢町、近隣市町村、大阪府及び全国の人口及び高齢化率（各年４月１日時点）

全国や大阪府、近隣の豊能町との人口、高齢者数、高齢化率の実績と将来推計を比較するため表にまとめたもの。

- ・能勢町の人口減少率は豊能町とほぼ同様の減少率となっている。
- ・高齢者人口は、能勢町は2025年を境に減少傾向に転じるが、大阪府・全国は2040年まで増加を続けている。
2040年まで能勢町の高齢化率は大阪府・全国と比較し急激な伸びとなる見込みである。

		2010年	2015年	比較	2020年	比較	2025年	比較	2030年	比較	2035年	比較	2040年	比較
能勢町	人口 (人)	11,650	10,256	88.0%	9,111	88.8%	8,065	88.5%	7,104	88.1%	6,148	86.5%	5,188	84.4%
	前期高齢者数（65歳～75歳未満）(人)	1,565	1,977	126.3%	2,073	104.9%	1,738	83.8%	1,502	86.4%	1,377	91.7%	1,172	85.1%
	後期高齢者数（75歳以上）(人)	1,619	1,592	98.3%	1,791	112.5%	2,219	123.9%	2,405	108.4%	2,391	99.4%	2,245	93.9%
	高齢者人口 (人)	3,184	3,569	112.1%	3,864	108.3%	3,957	102.4%	3,907	98.7%	3,768	96.4%	3,417	90.7%
	高齢化率 (%)	27.3	34.8	—	42.4	—	49.1	—	55.0	—	61.3	—	65.9	—
豊能町	人口 (人)	21,989	19,934	90.7%	18,164	91.1%	16,379	90.2%	14,462	88.3%	12,404	85.8%	10,392	83.8%
	前期高齢者数（65歳～75歳未満）(人)	3,676	4,700	127.9%	4,481	95.3%	3,283	73.3%	2,451	74.7%	2,083	85.0%	1,970	94.6%
	後期高齢者数（75歳以上）(人)	2,378	3,052	128.3%	4,186	137.2%	5,478	130.9%	5,847	106.7%	5,411	92.5%	4,702	86.9%
	高齢者人口 (人)	6,054	7,752	128.0%	8,667	111.8%	8,761	101.1%	8,298	94.7%	7,494	90.3%	6,672	89.0%
	高齢化率 (%)	27.5	38.9	—	47.7	—	53.5	—	57.4	—	60.4	—	64.2	—
大阪府	人口 (人)	8,865,245	8,839,469	99.7%	8,732,289	98.8%	8,526,202	97.6%	8,262,029	96.9%	7,962,983	96.4%	7,649,229	96.1%
	前期高齢者数（65歳～75歳未満）(人)	1,129,641	1,247,844	110.5%	1,155,770	92.6%	920,490	79.6%	921,386	100.1%	1,073,878	116.6%	1,219,942	113.6%
	後期高齢者数（75歳以上）(人)	833,107	1,030,480	123.7%	1,285,408	124.7%	1,507,245	117.3%	1,523,311	101.1%	1,445,022	94.9%	1,433,265	99.2%
	高齢者人口 (人)	1,962,748	2,278,324	116.1%	2,441,178	107.1%	2,427,735	99.4%	2,444,697	100.7%	2,518,900	103.0%	2,653,207	105.3%
	高齢化率 (%)	22.1	25.8	—	28.0	—	28.5	—	29.6	—	31.6	—	34.7	—
全国	人口 (人)	128,057,352	127,094,686	99.2%	125,324,842	98.6%	122,544,103	97.8%	119,125,139	97.2%	115,215,698	96.7%	110,918,555	96.3%
	前期高齢者数（65歳～75歳未満）(人)	15,173,475	17,339,672	114.3%	17,472,079	100.8%	14,971,124	85.7%	14,275,254	95.4%	15,219,341	106.6%	16,813,910	110.5%
	後期高齢者数（75歳以上）(人)	14,072,210	16,125,719	114.6%	18,719,899	116.1%	21,799,725	116.5%	22,884,332	105.0%	22,597,261	98.7%	22,391,807	99.1%
	高齢者人口 (人)	29,245,685	33,465,391	114.4%	36,191,978	108.1%	36,770,849	101.6%	37,159,586	101.1%	37,816,602	101.8%	39,205,717	103.7%
	高齢化率 (%)	22.8	26.3	—	28.9	—	30.0	—	31.2	—	32.8	—	35.3	—

（出典）2005年～2015年まで：総務省「国勢調査」

2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

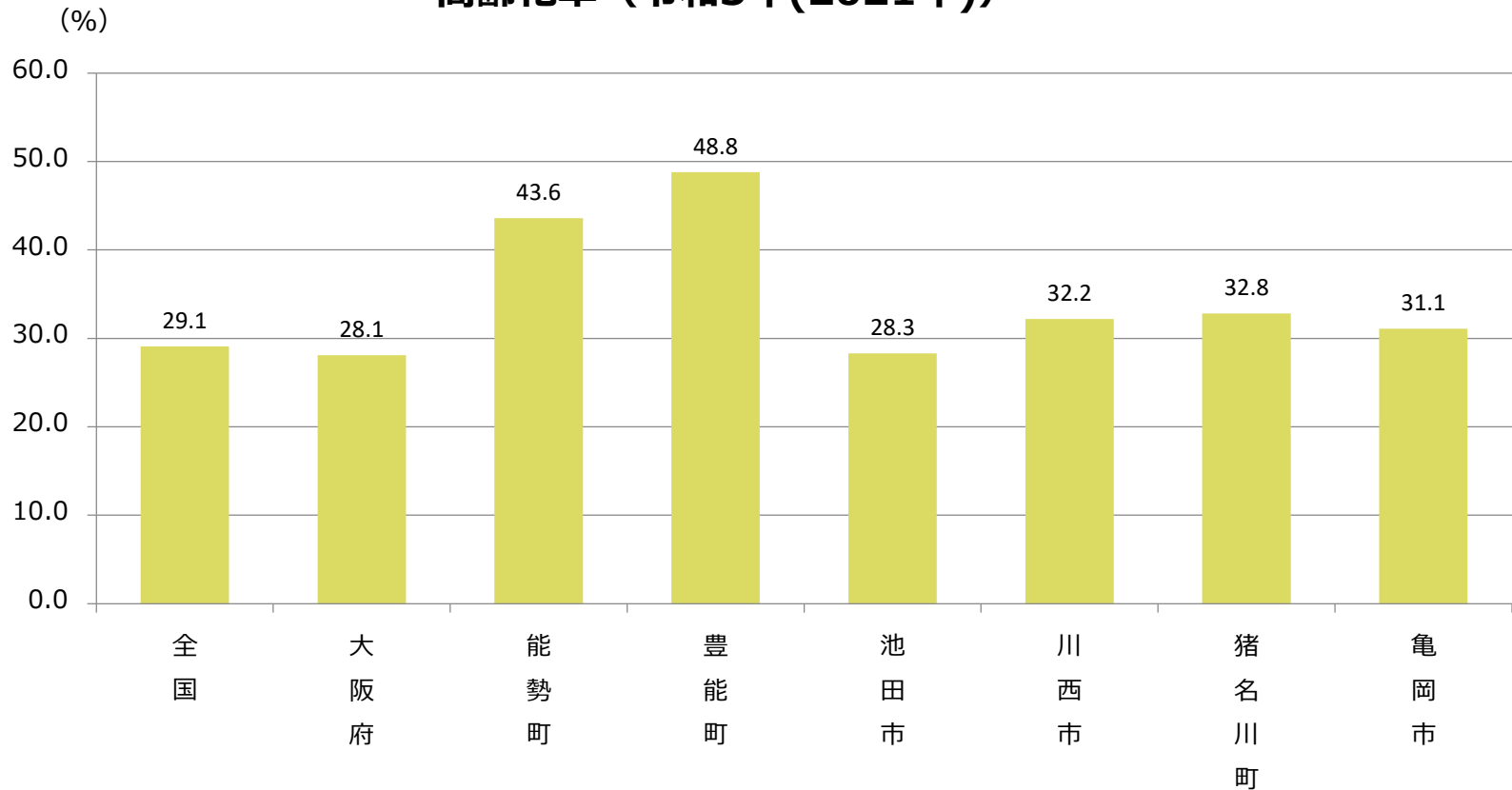
前ページの人口推移をグラフ化したもの。



(出典) 2000年～2015年まで：総務省「国勢調査」

2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

高齢化率（令和3年(2021年)）

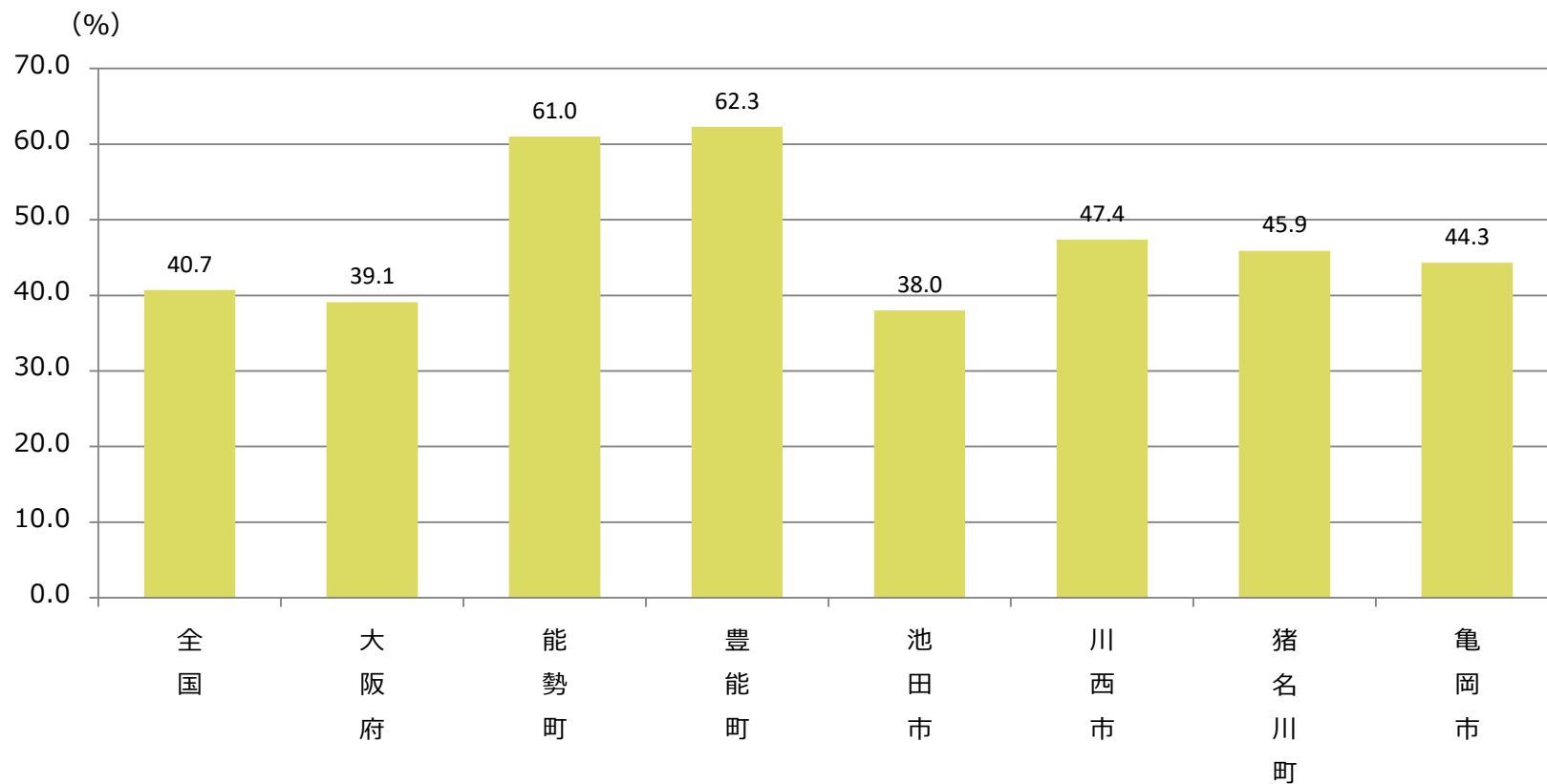


（時点）令和3年(2021年)

（出典）総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

○ 能勢町の高齢化率は豊能町の次に高い43.6%となっており、全国や大阪府、他市町村と比較しても高齢化が急速に進行している。

高齢者を含む世帯の割合（平成27年(2015年)）



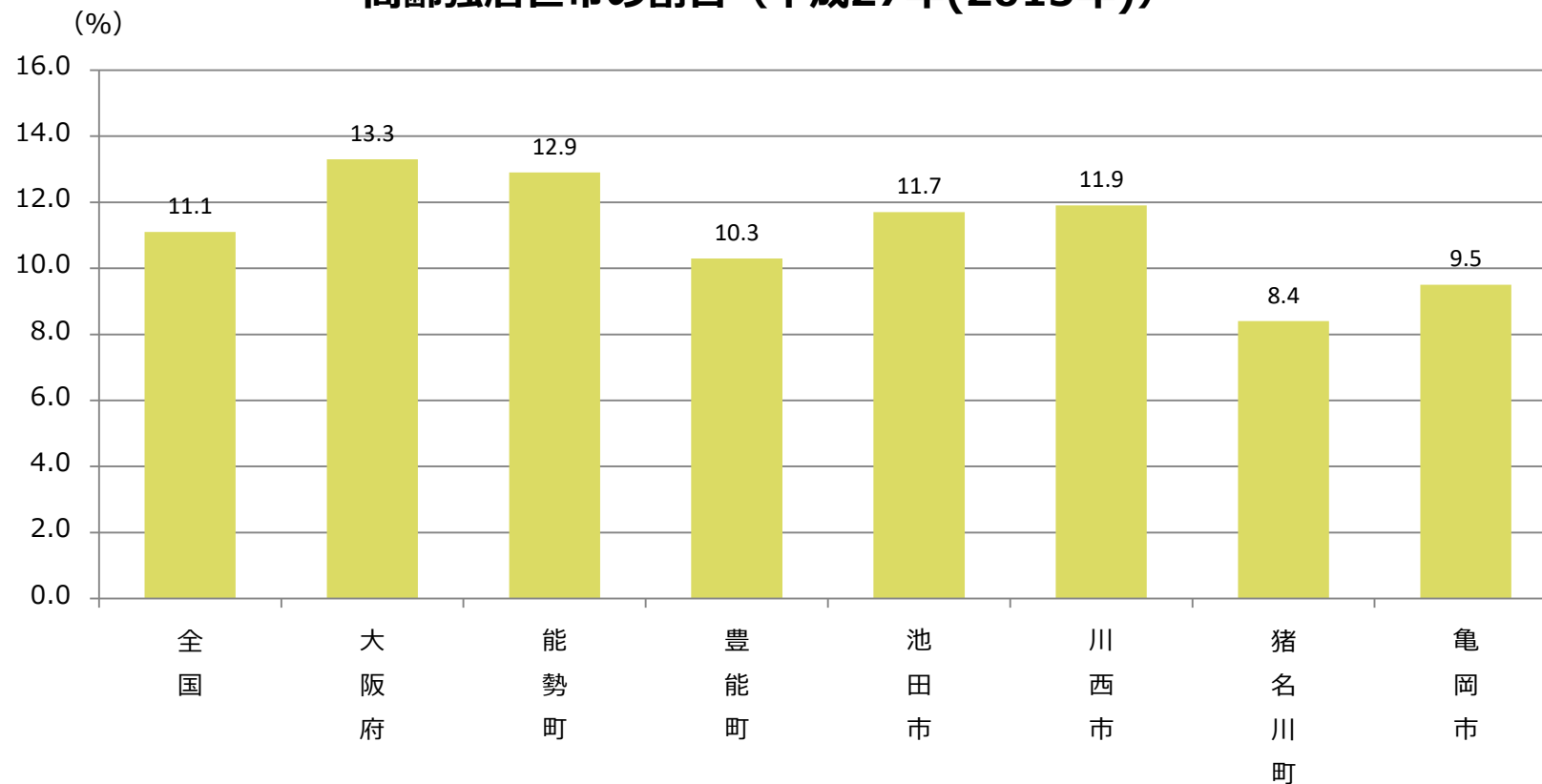
(時点) 平成27年(2015年)

(出典) 総務省「国勢調査」

○ 令和2年国勢調査の結果詳細が見える化システム未反映のため、平成27年国勢調査の数値を引用。

○ 能勢町は豊能町とともに高齢者を含む世帯の割合が高い。

高齢独居世帯の割合（平成27年(2015年)）



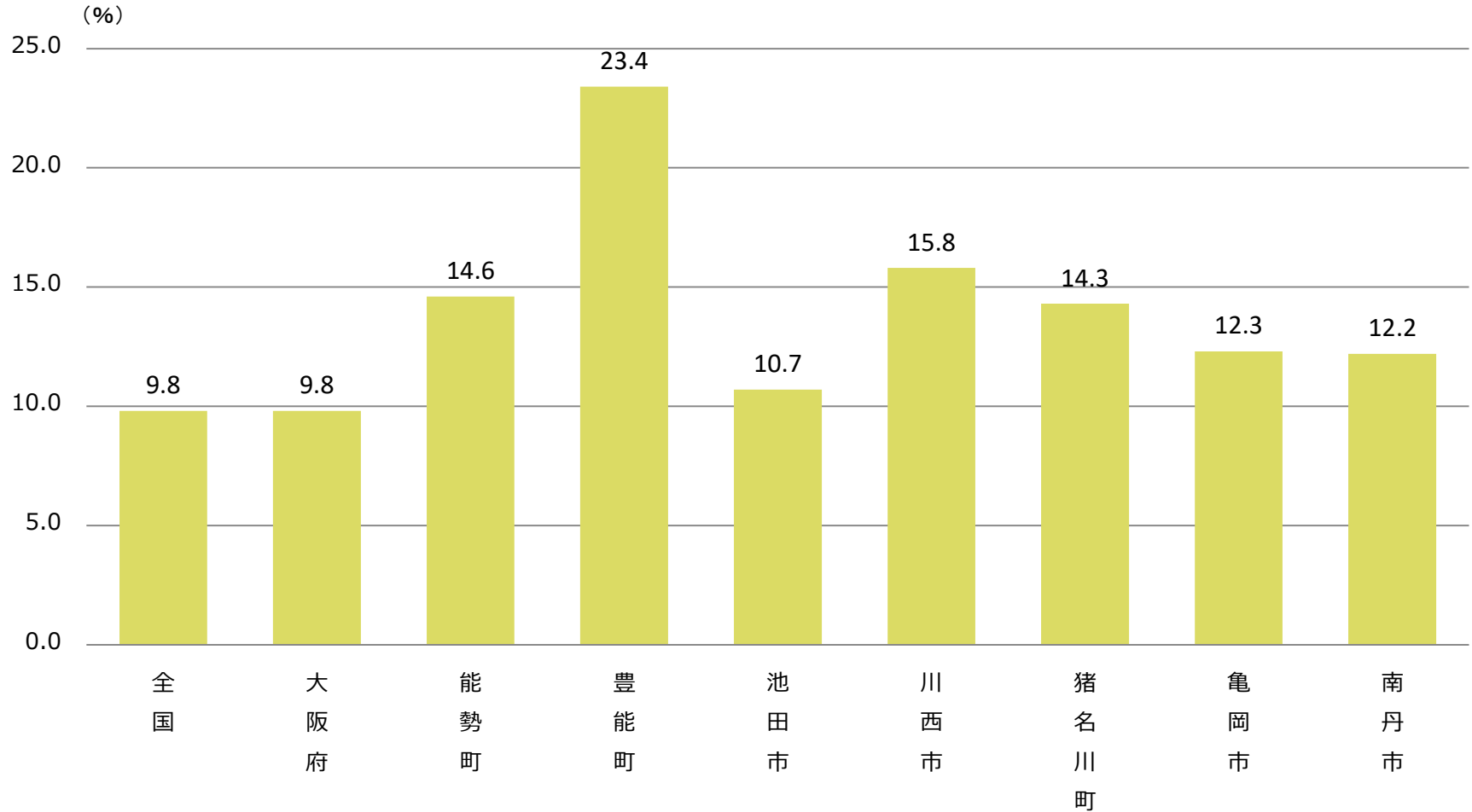
(時点) 平成27年(2015年)

(出典) 総務省「国勢調査」

○ 令和2年国勢調査の結果詳細が見える化システム未反映のため、平成27年国勢調査の数値を引用。

○ 能勢町は高齢者を含む世帯の割合が高く、高齢独居世帯の割合も大阪府よりは低いが全国平均と比べて高い。

高齢夫婦世帯の割合（平成27年(2015年)）



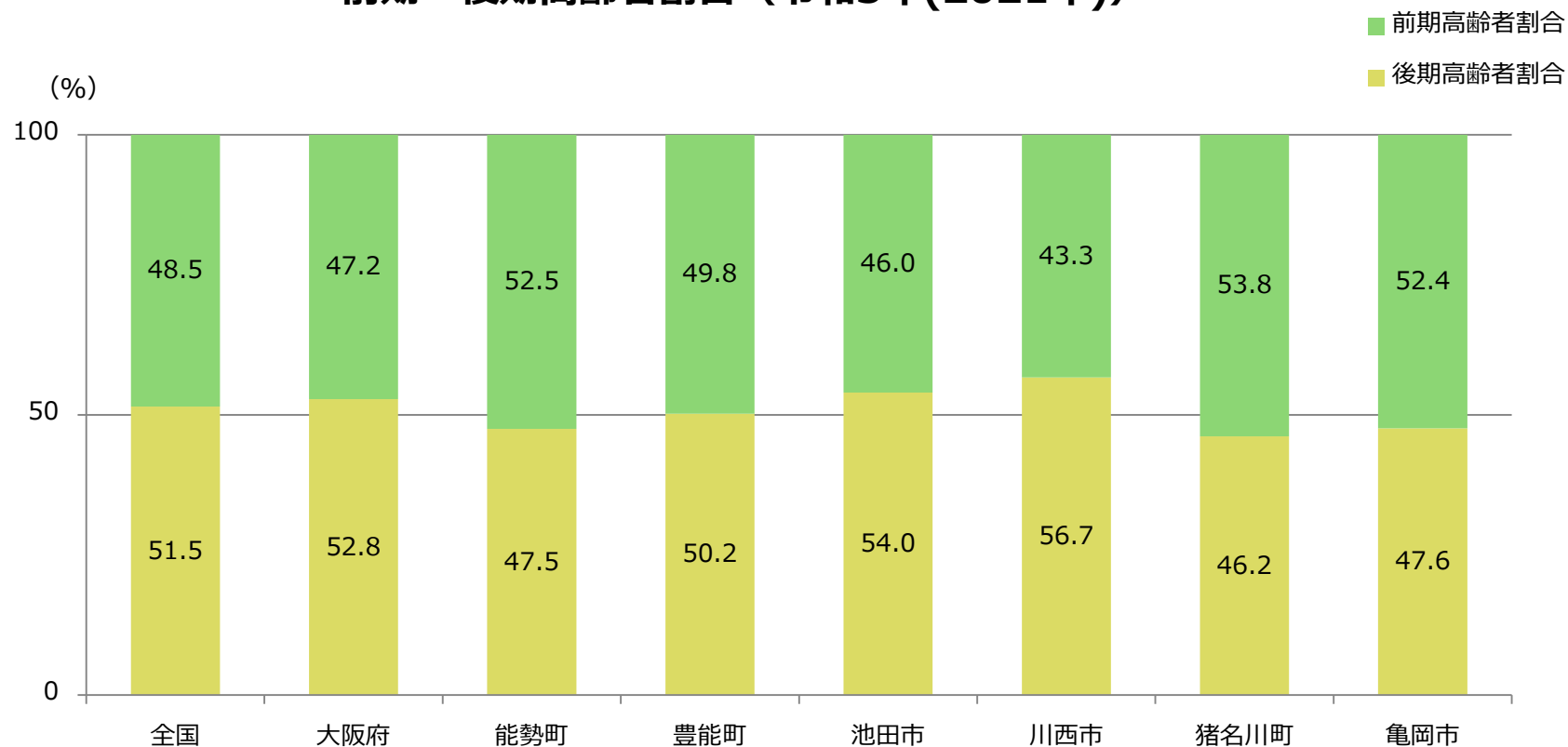
(時点) 平成27年(2015年)

(出典) 総務省「国勢調査」

○ 令和2年国勢調査の結果詳細が見える化システム未反映のため、平成27年国勢調査の数値を引用。

○ 能勢町の高齢夫婦世帯の割合は全国平均より高い。近隣では豊能町が特に高くなっている。

前期・後期高齢者割合（令和3年(2021年)）



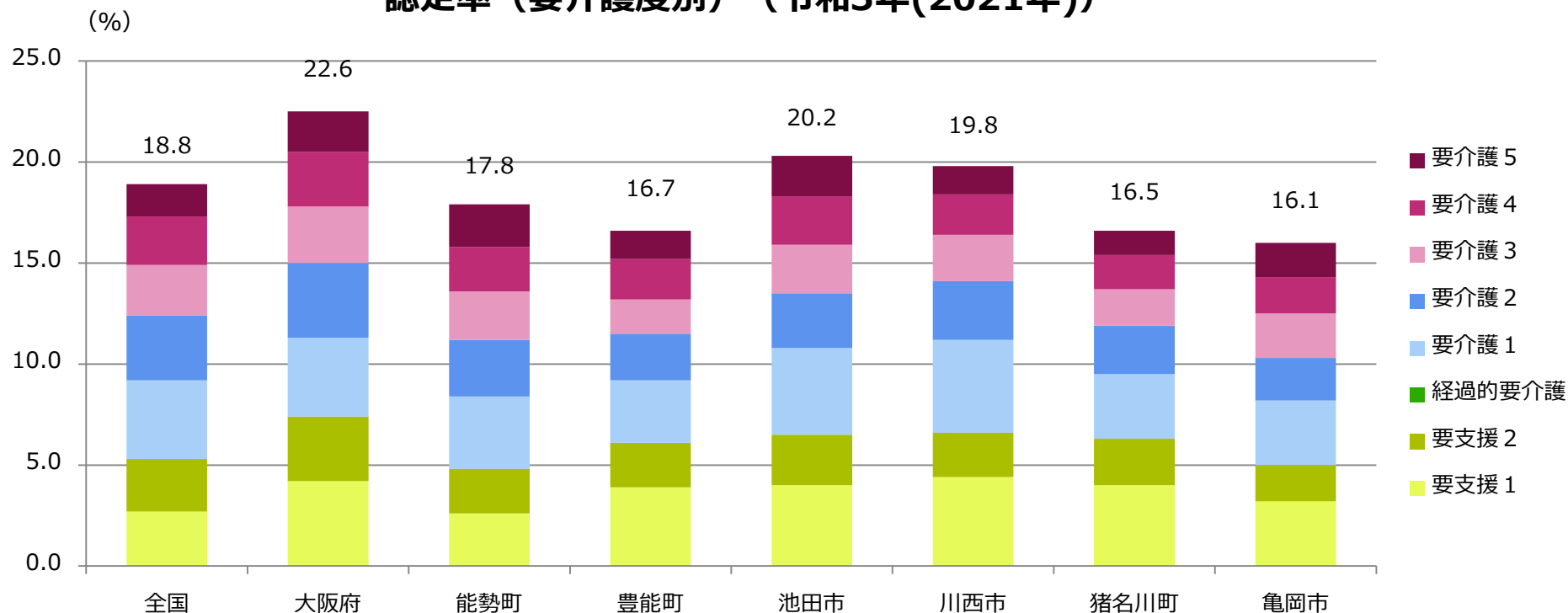
(時点) 令和3年(2021年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

○ 前期高齢者：65歳から74歳までの第1号被保険者 / 後期高齢者：75歳以上の第1号被保険者。

○ 令和3年では能勢町は前期高齢者の割合が高くなっているが、今後、後期高齢者の割合が増えることが予想される。

認定率（要介護度別）（令和3年(2021年)）



（時点）令和3年(2021年)

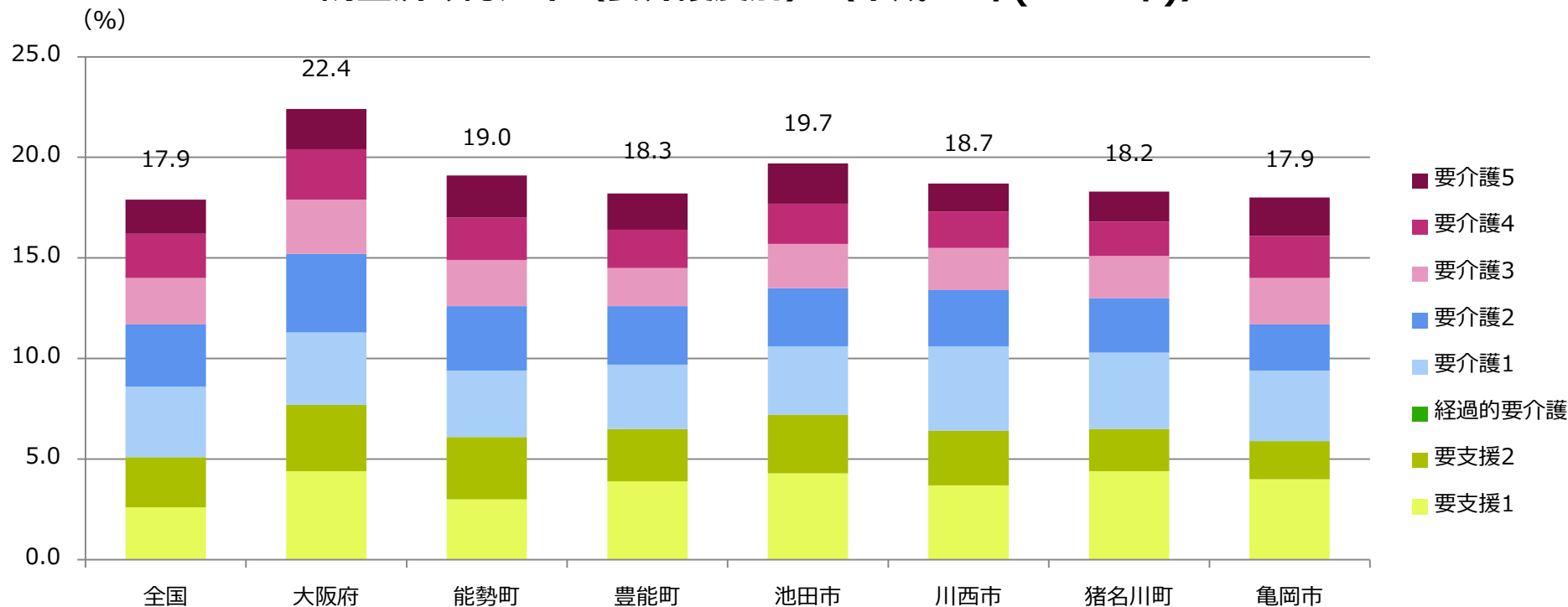
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

○ 認定率：第1号被保険者（≒65歳以上の高齢者）のうち、どのくらいの者が介護認定を受けているかをグラフ化したもの。

○ 能勢町では、令和3年の認定率17.8%で第1号被保険者（4,000人弱）のうち約700人が介護認定を受けている。

○ 大阪府平均の認定率より能勢町の認定率は低くなっている。（大阪府の認定率は都道府県の中でも最も高い。）

調整済み認定率（要介護度別）（平成27年(2015年)）

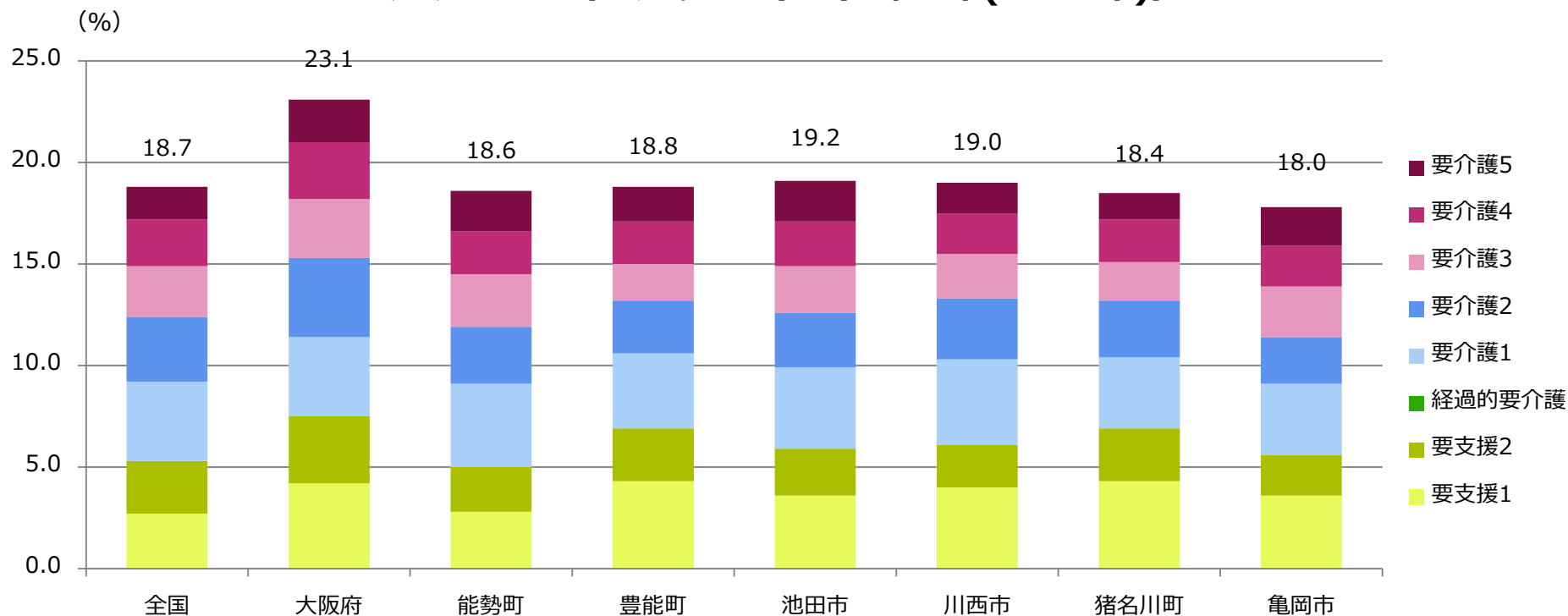


（時点）平成27年(2015年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

- 「調整済み認定率」とは・・・認定率の大小に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者の性別・年齢別人口構成」の影響を除外した認定率を意味する。一般的に後期高齢者の認定率は前期高齢者よりも高くなることがわかっている。こうした要因を調整することで、地域間・時系列で比較がしやすくなる。
- 年齢構成別人口などの影響要因を調整した後の認定率をグラフ化したもの。後期高齢者の割合が高い地域の認定率は、調整することで下がる。
- 平成27年の調整済み認定率。

調整済み認定率（要介護度別）（令和2年(2020年)）



（時点）令和2年(2020年)

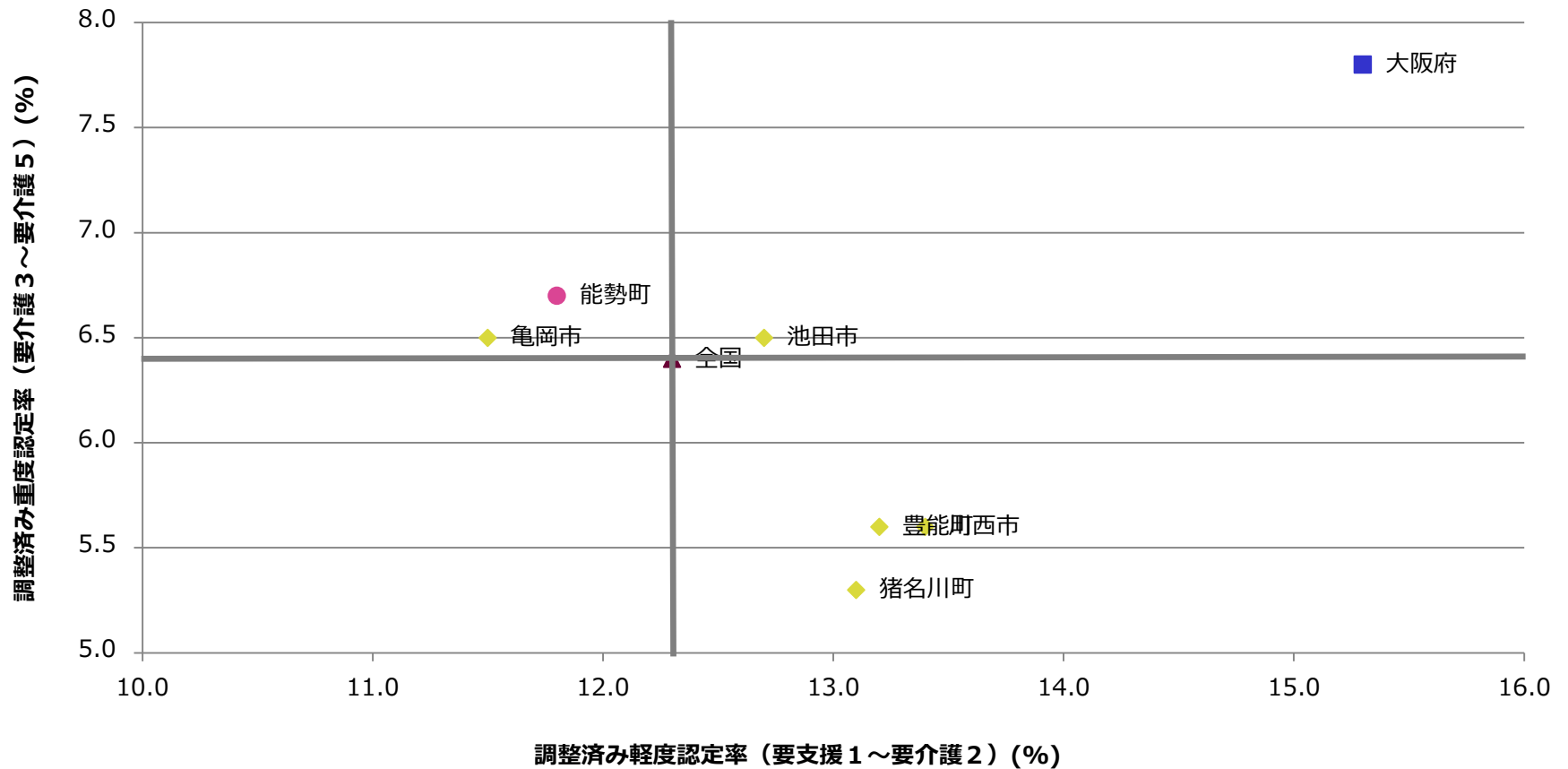
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

○ 令和2年の調整済み認定率。

○ 平成27年認定率と令和2年認定率を比較すると、全国、大阪府は認定率が高くなっているが、能勢町は低くなっている。

○ 能勢町では平成27年より介護予防事業（いきいき百歳体操）に取り組んでおり、認定率低下の一因ではないかと考えられる。

調整済み重度認定率と調整済み軽度認定率の分布（令和2年(2020年)）

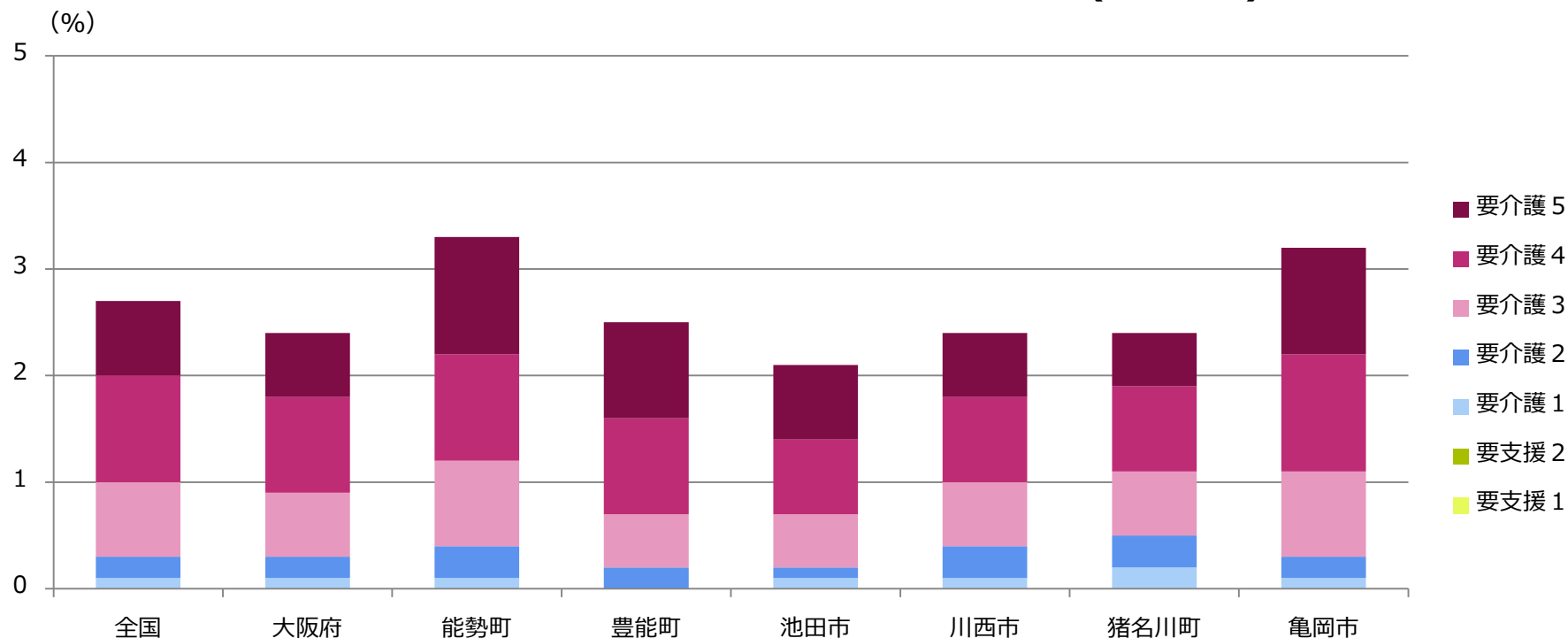


（時点）令和2年(2020年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

- 全国平均を中心とした場合、能勢町は軽度認定率は低く、重度認定率が高い傾向にあり、近隣では亀岡市も同じ傾向である。
- 重度者の原因は脳血管疾患、認知症などで、重度になってから認定を受けるケースが多い傾向にある。

受給率（施設サービス）（要介護度別）（令和3年(2021年)）



（時点） 令和3年(2021年)

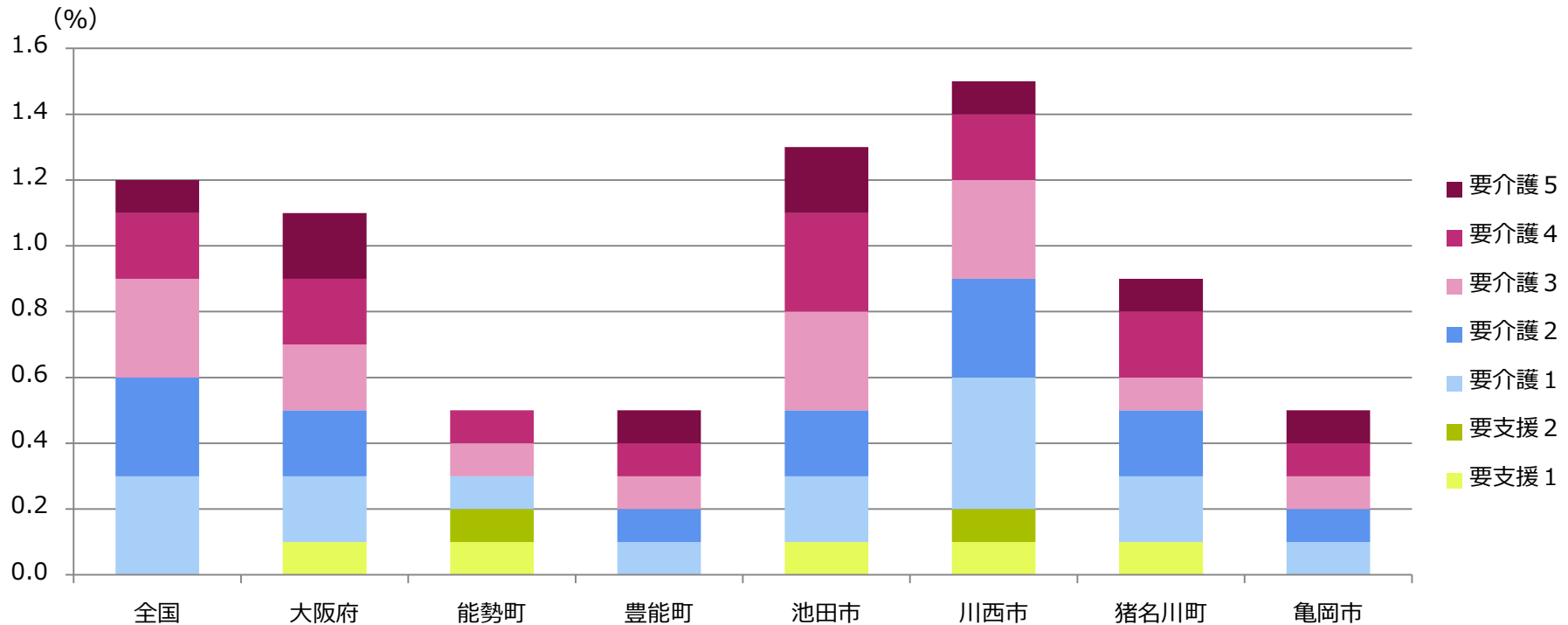
（出典） 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

○ 受給率：施設サービス受給者数 ÷ 第1号被保険者数 としている。

○ 施設サービス：介護老人福祉施設（密着型を含む）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設（介護医療院）

○ 能勢町の第1号被保険者は4,000名弱。そのうち130名ほどが施設サービスを受けており、割合としては他と比較して高くなっている。

受給率（居住系サービス）（要介護度別）（令和3年(2021年)）

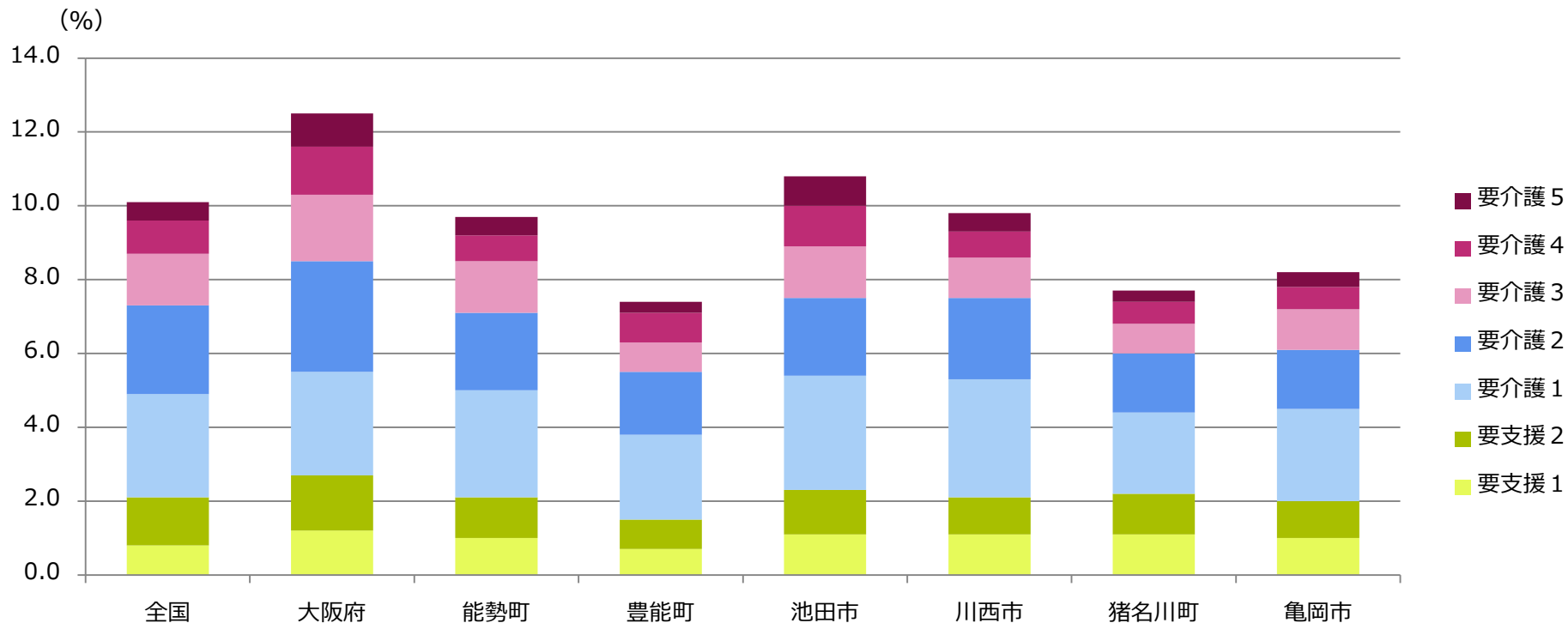


（時点） 令和3年(2021年)

（出典） 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

- 居住系サービス：特定施設入居者生活介護（地域密着型含む）、認知症対応型共同生活介護
- 上記の例としては、有料老人ホームやケアハウス、認知症高齢者グループホームなどがあげられる。
- 能勢町の割合は低くなっている。町内に該当サービスがないことが要因として考えられるが、町外利用が増え、近年は増加傾向にある。

受給率（在宅サービス）（要介護度別）（令和3年(2021年)）



(時点) 令和3年(2021年)

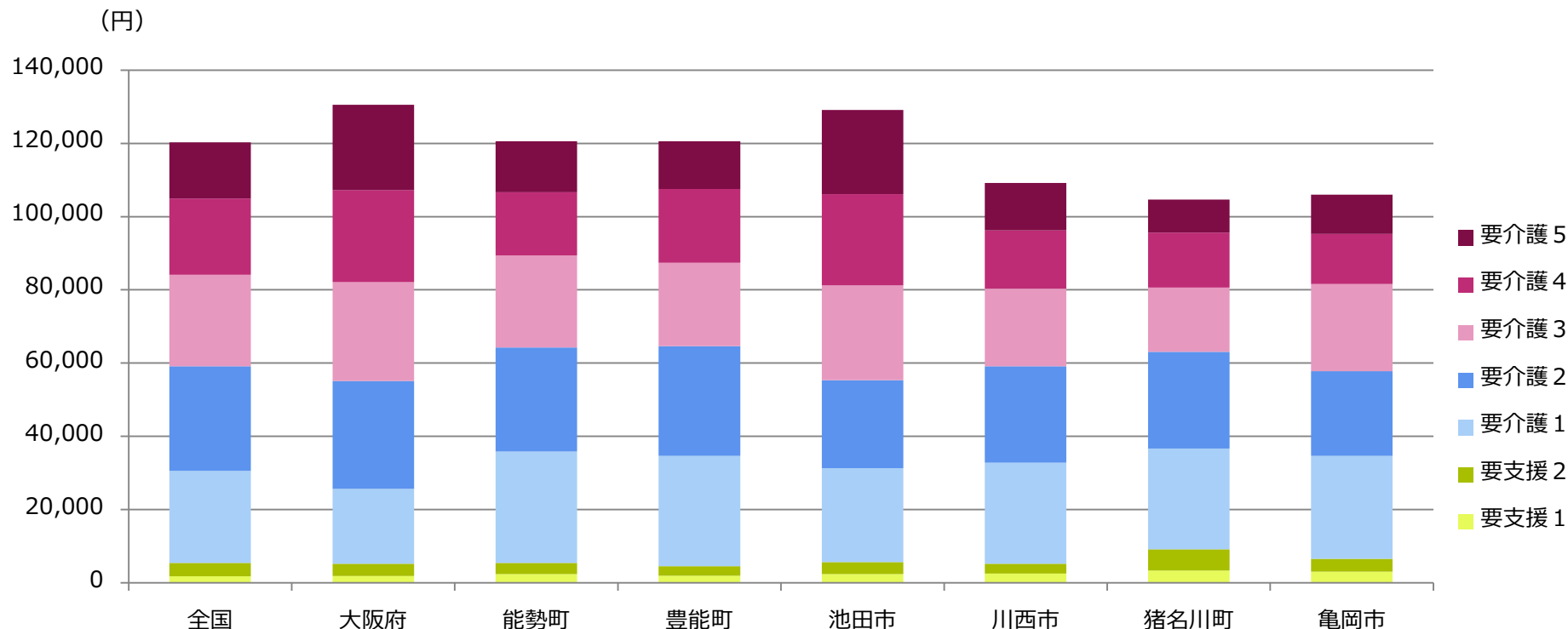
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

○ 在宅サービス：訪問サービス、通所サービス、短期入所サービス等及び地域密着型サービス

○ 在宅サービスは他サービスとの重複利用があるため、実際の受給率計算は居宅介護支援（300件ほど）＋介護予防支援（85件ほど）の件数（＝ケアプラン作成数）÷ 第1号被保険者数 としている。

○ 能勢町の割合は全国、大阪府と比べて低くなっているが、近隣市町と比べるとやや高くなっている。

受給者1人あたり給付月額（要介護度別）（在宅サービス）（令和3年(2021年)）



(時点) 令和3年(2021年)

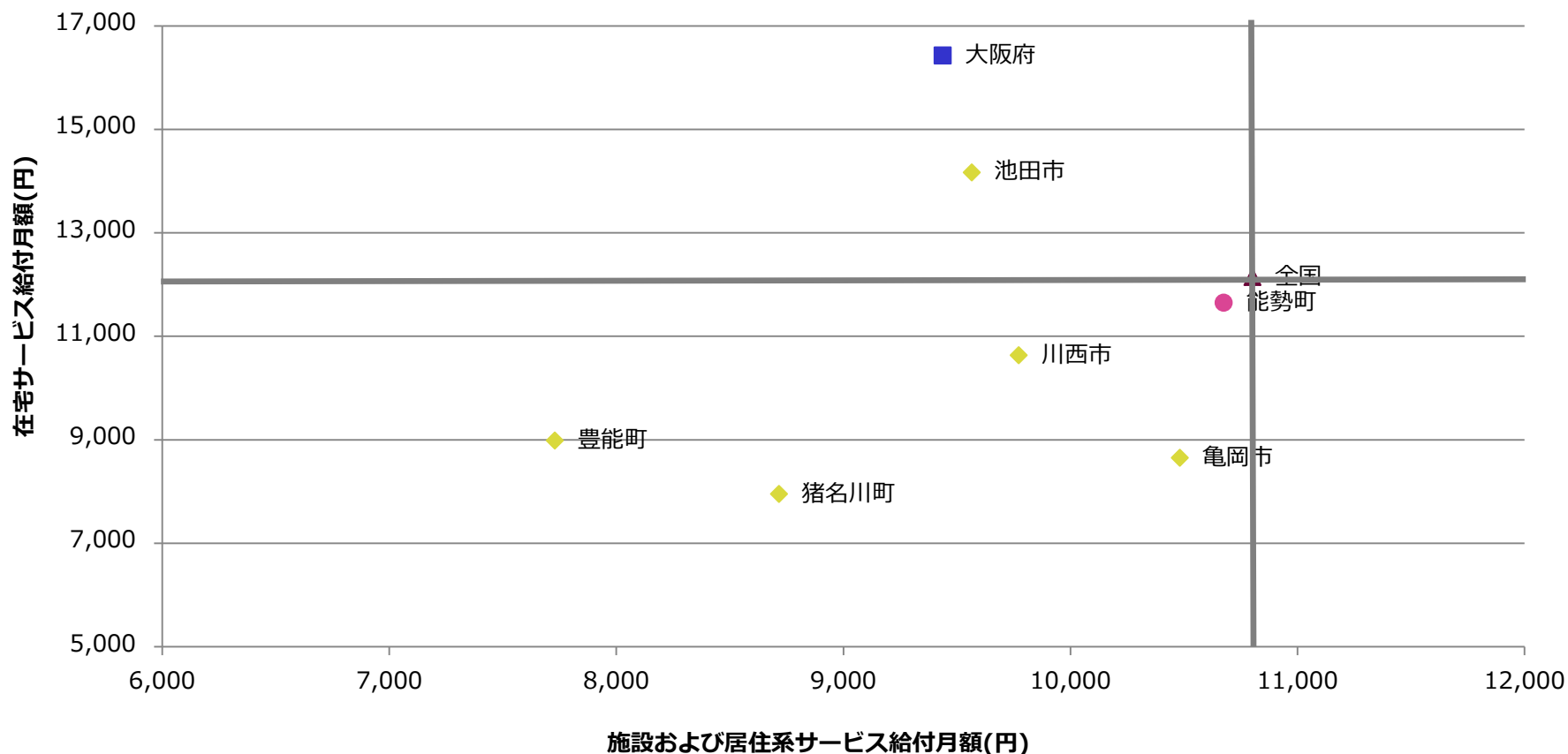
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

○ 在宅サービス給付費総額 ÷ 在宅サービス受給者数 の値を1人あたり給付費月額としてグラフ化したもの。

○ 額が高い自治体は、受給者1人が使っているサービスが多い傾向にあることを示す。

○ 能勢町は、大阪府と比べて月額が低く全国とほぼ同様の値となっている。必要なサービスを適切に使っていると考えられる一方、サービスの供給体制について持続的な資源確保の検討を行う必要がある。

第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス・施設および居住系サービス） （令和3年(2021年)）

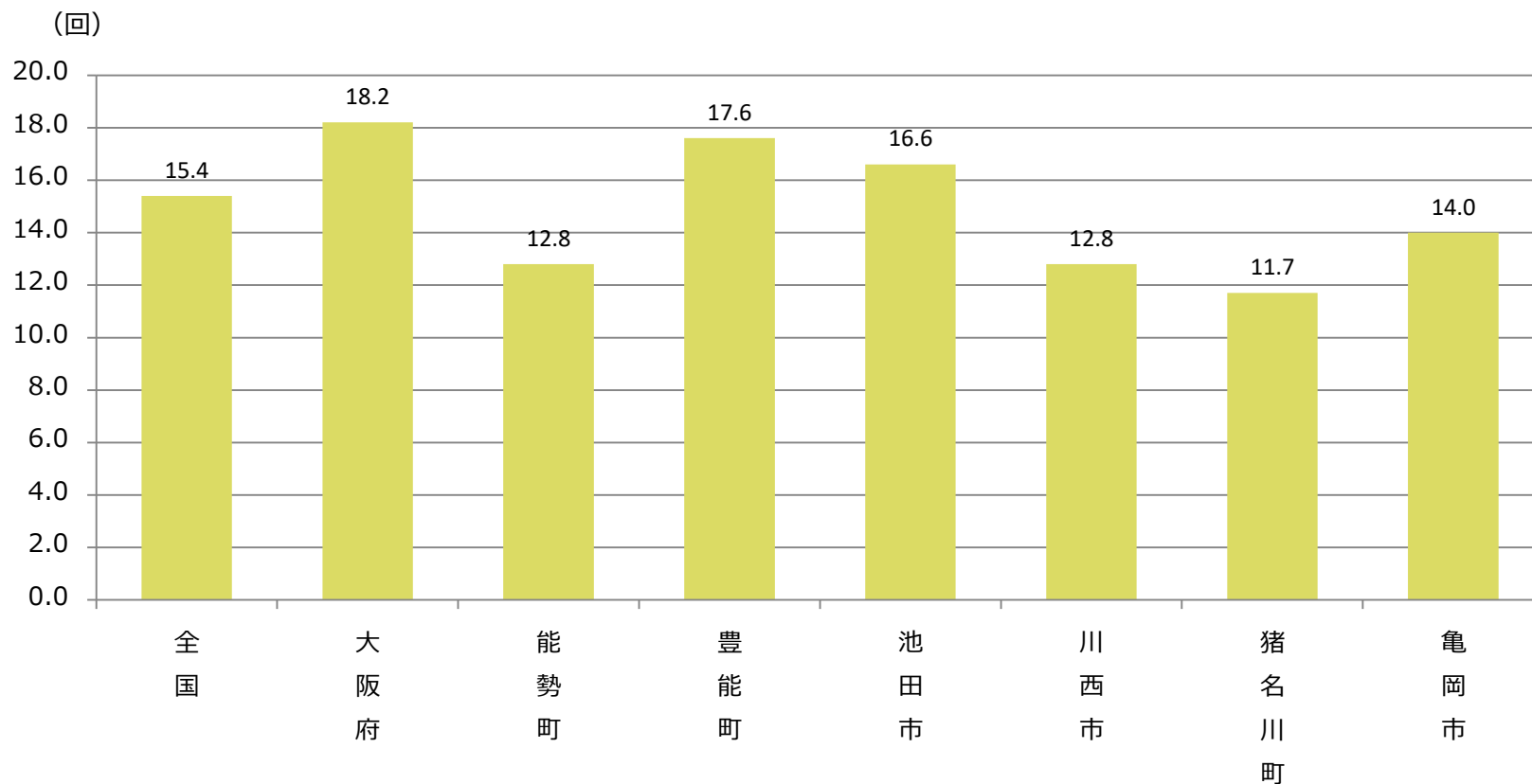


（時点）令和3年(2021年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

- 在宅サービス・施設・居住系サービス給付費総額 ÷ 第1号被保険者数者数 の値を第1号被保険者1人あたり給付費月額として分布図化したもの。
- 全国を中心とした場合、能勢町は全国とほぼ同様の値となっている。
- 施設及び居住系サービスは他市町と比較するとやや高くなっており、在宅生活を支援するサービス提供体制が必要と考えられる。

受給者1人当たり利用日数・回数（訪問介護）（平成27年(2015年)）



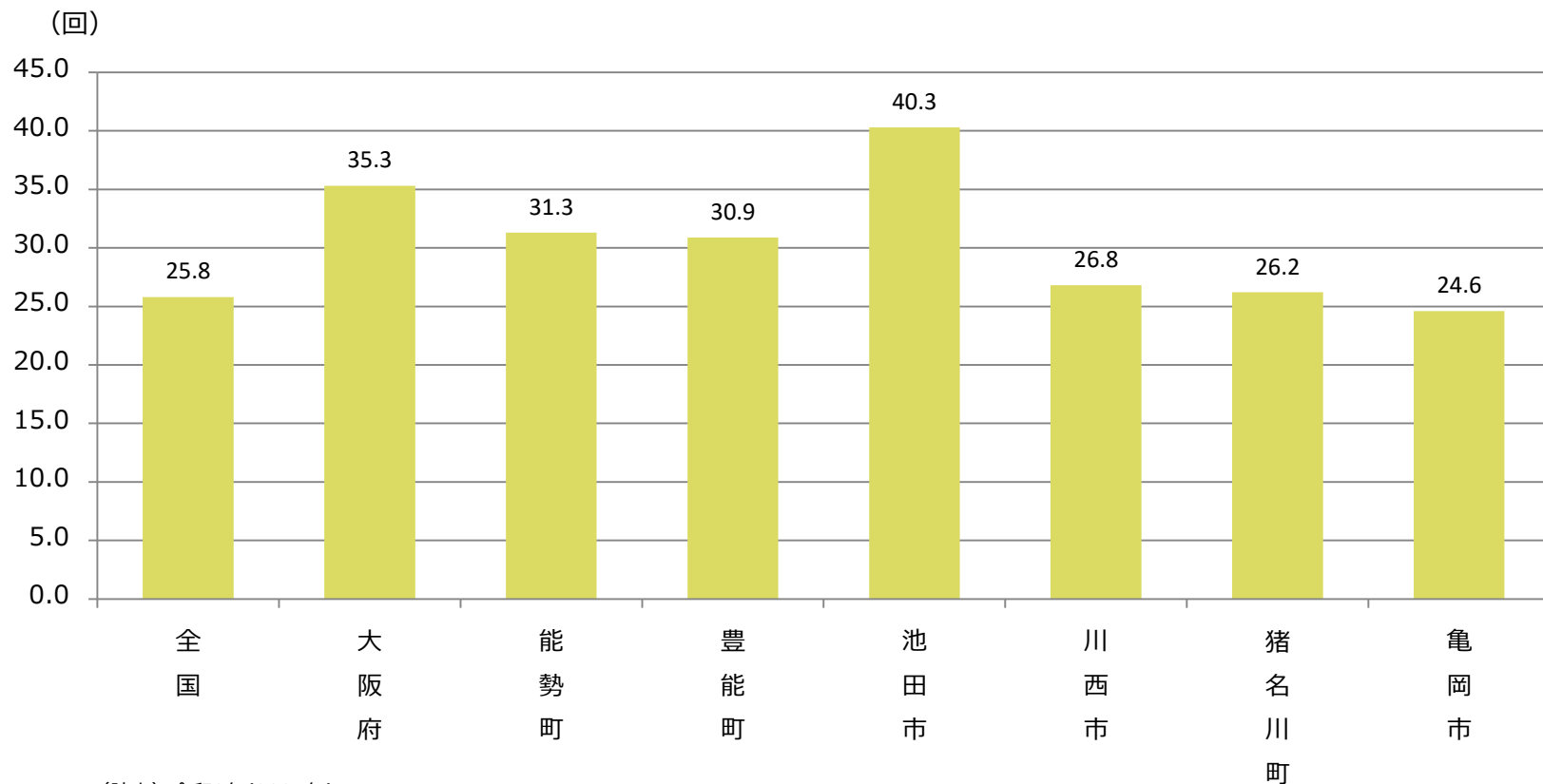
(時点) 平成27年(2015年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

○ 平成27年の訪問介護の受給者1人当たり利用日数・回数をグラフ化したもの。

○ 全国、大阪府平均と比較すると、能勢町の実績は低くなっている。

受給者1人当たり利用日数・回数（訪問介護）（令和3年(2021年)）

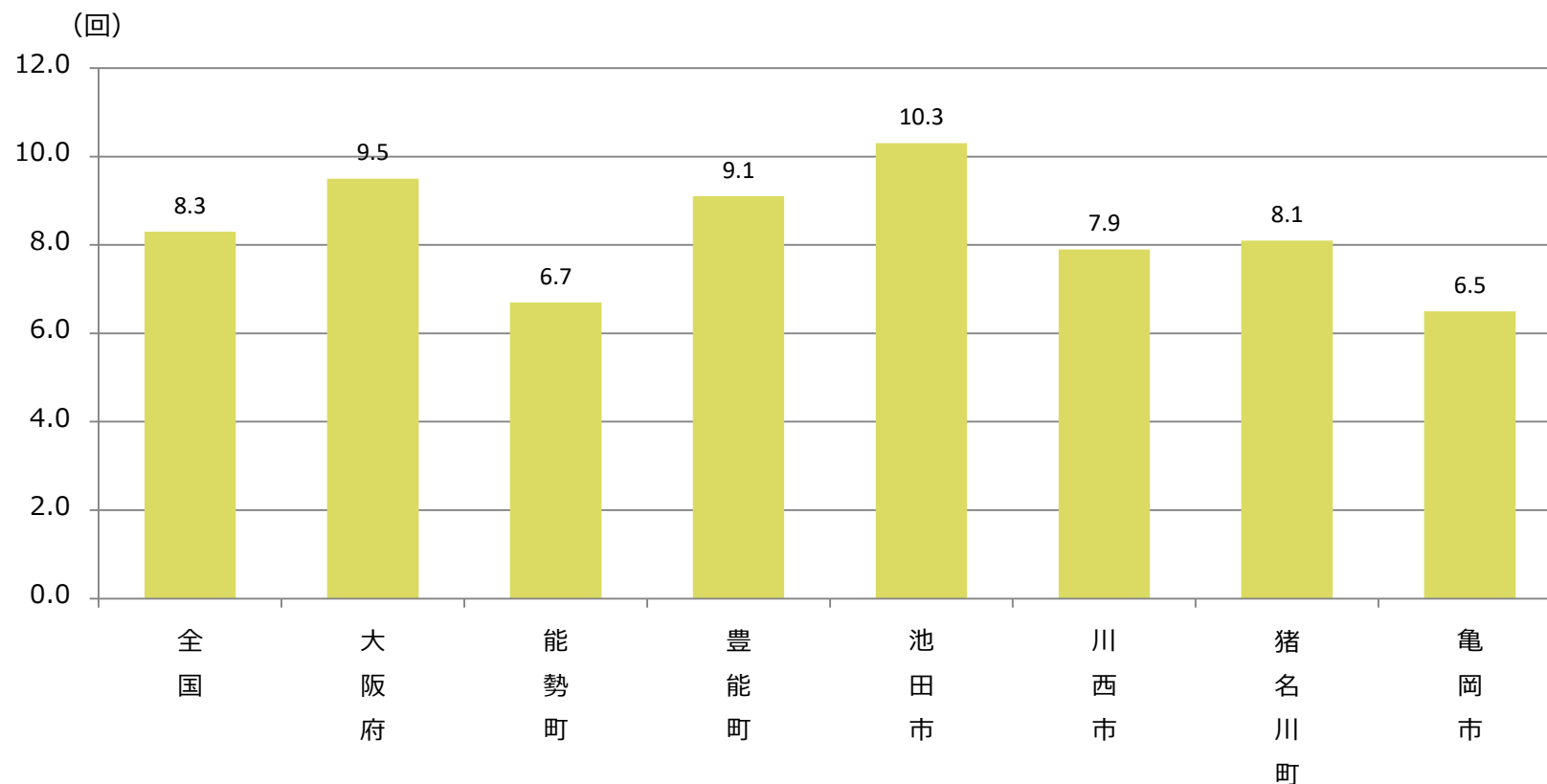


（時点） 令和3年(2021年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

- 令和3年の訪問介護の受給者1人当たり利用日数・回数をグラフ化したもの。
- 平成27年と令和3年を比較すると、全国、大阪府、各市町村ともに受給者1人当たり利用日数・回数は増加している。
- 能勢町では平成27年と比較して約2.45倍（12.8回→31.3回）増加している。認定率は増加していないが、高齢認定者が増えていることで、より在宅サービスが必要な方が増えたと考えられる。

受給者1人当たり利用日数・回数（訪問看護）（平成27年(2015年)）



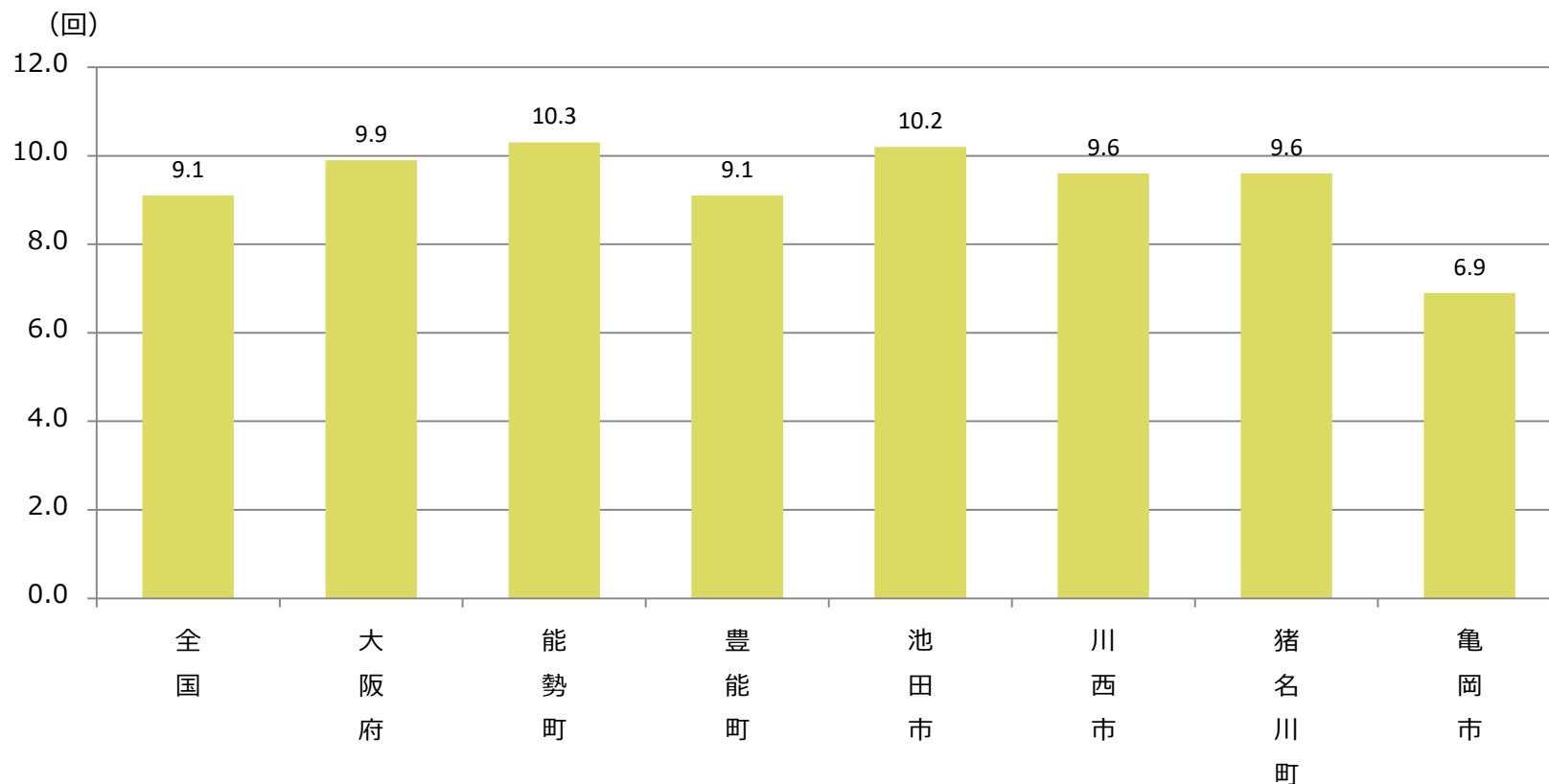
(時点) 平成27年(2015年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

○ 平成27年の訪問看護の受給者1人当たり利用日数・回数をグラフ化したもの。

○ 全国、大阪府内近隣市町と比較しても、能勢町の実績は低くなっている。

受給者1人当たり利用日数・回数（訪問看護）（令和3年(2021年)）

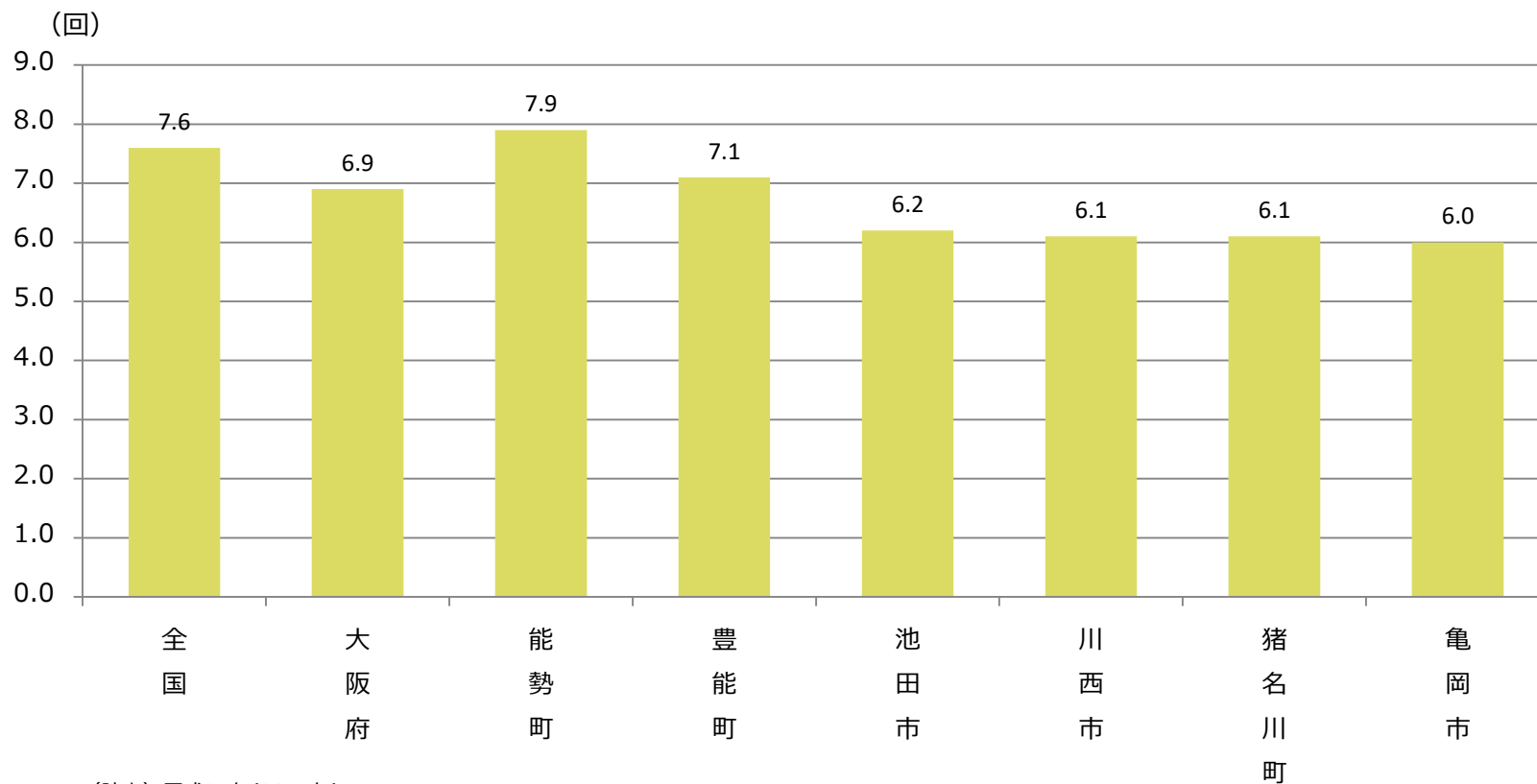


(時点) 令和3年(2021年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

- 令和3年の訪問看護の受給者1人当たり利用日数・回数をグラフ化したもの。
- 平成27年と令和3年を比較すると、豊能町、池田市を除きほとんどの市町村が受給者1人当たり利用日数・回数は増加している。
- 能勢町では平成27年と比較して約1.54倍（6.7回→10.3回）増加しており、大阪府平均より高い数値となっている。
- 訪問介護同様、高齢介護者が増えたことで、医療的ケアを必要とする方が増えたことが要因の一つと考えられる。

受給者1人当たり利用日数・回数（通所介護）（平成27年(2015年)）



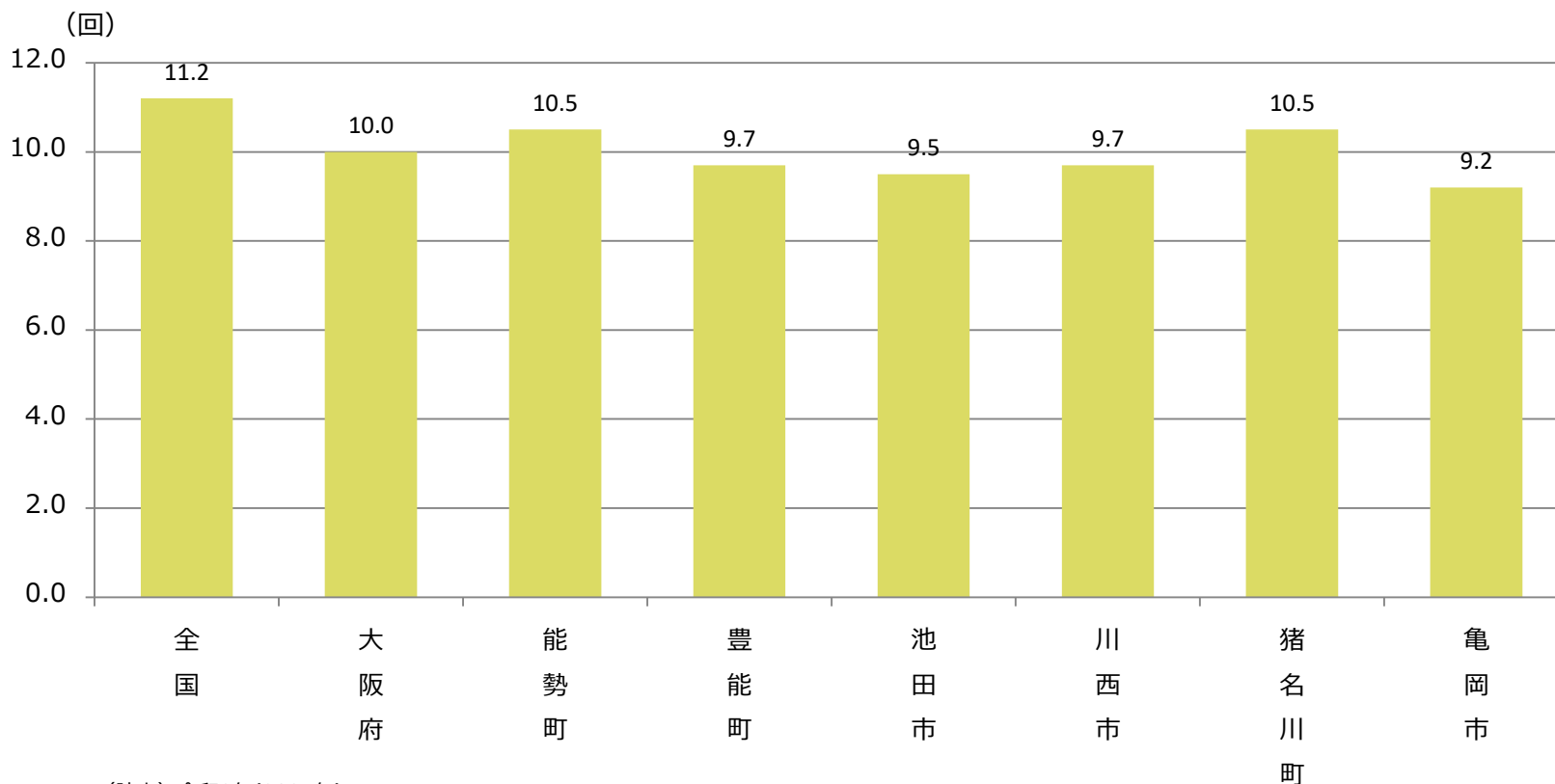
(時点) 平成27年(2015年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

○ 平成27年の通所介護の受給者1人当たり利用日数・回数をグラフ化したもの。

○ 全国、大阪府内近隣市町と比較して、能勢町の実績は高くなっている。

受給者1人当たり利用日数・回数（通所介護）（令和3年(2021年)）



（時点） 令和3年(2021年)

（出典） 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

- 令和3年の通所介護の受給者1人当たり利用日数・回数をグラフ化したもの。
- 平成27年と令和3年を比較すると、全国、大阪府、各市町村ともに受給者1人当たり利用日数・回数は増加している。
- 能勢町では平成27年と比較して約1.33倍（7.9回→10.5回）増加しており、他市町村の増加率と誤差はない。